『10年目の123』プレイベント

10万人の意思をかたちに！

～ 今井一さん　特別講演 & 呼びかけ・お世話人会 ～

2000年の1月23日、今からちょうど10年前に行われた、吉野川第十堰の可動堰化の是非を問う住民投票。それは「コップ一杯の選択」や「吉野川へ一票を！」などの言葉が示すように、これからの吉野川をどのようにしていくのか、住民たちの意思を問う住民投票でした。
冬の寒い日にもかかわらず、又推進派によるボイコット運動などがありましたが、徳島市民の５５％が投票所に足を運び、その９０％が可動堰計画に反対でした。なんと102,759名の人たちが反対に〇をしたのでした。その結果、可動堰計画は白紙棚上げとなりました。しかし完全中止の決定までには至らず、10年後の今日まで、住民の意思は宙に浮いたままとなっています。
より良い流域全体の連携を進め、上流の森から山、里、川、田んぼ、干潟、河口へとつながる循環のシステムをつくり上げること。そのことの大切さを私たち吉野川の住民たちは気づきました。10年前の住民投票と、その後の活動を通じて様々なことを知り、学んだのでした。
それをみんなで持ち寄りましょう。この1月23日に「『10年目の123』第十～流域～民主主義」を開催します。800 人の会場（教育会館大ホール）をいっぱいにしましょう。そのための呼びかけ人会、お世話人会を1月11日に開きます。ゲストに住民投票に詳しく、常に民主主義の最前線で活躍するジャーナリストの今井一さんをお呼びしています。第十堰のこれから、吉野川の未来について語り合いましょう。

特別講演　**今井 一** さん（ジャーナリスト）

『吉野川の住民投票がはじまりだった
～住民投票から事業仕分けへと続く～』(仮)

1月11日（月・祝日）午後1時30分～4時
徳島県郷土文化会館（あわぎんホール）５階小ホール
入場無料

1954年大阪市生まれ。
ジャーナリスト。［国民投票／住民投票］情報室事務局長。
大学での専攻は哲学で研究テーマは『自由論』。
主な著書『住民投票――観客民主主義を超えて』(岩波書店)など

主催　**１０年目の１２３実行委員会**

吉野川みんなの会　ＴＥＬ＆ＦＡＸ：０８８－６１２－９２００　MAIL：office@daiju.ne.jp
自然スクールトエック　ＴＥＬ：０８８－６２６－３４３６　ＦＡＸ：０８８－６２６－３５３３
MAIL：toec@asahi-net.email.ne.jp
里山の風景をつくる会　ＴＥＬ：０８８－６５５－１６１６　ＦＡＸ：０８８－６５５－１６３２
MAIL：noguchi_a_a@an.wakwak.com